

3F	12月	令和7年 1月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第4期 ~1月6日(月)	1月17日(金)~第5期~2月17日(月)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	12月6日(金)~	第4期 ~2月3日(月)
特別展示室 企画展	土佐和紙のちから ~文化財補修用紙の今~ ~12月8日(日)	「みどころ満載 城博コレクション」 1月1日(水・祝)~ ~3月9日(日)

年末休館 12月26日(木)~31日(火)

城博 ニュース

城博講座 (12月~1月)

12月 14日(土)
歴史講座
「海と山のめぐみ
~土佐の社会と産業~」
第3回 土佐の歴史を動かす材木
講師/横山和弘(当館歴史担当学芸員)

令和7年 1月 18日(土)
歴史資料保存講習会
「お家に伝わる美術品の
取り扱い方と保存方法」
講師/田井東浩平(当館保存担当学芸員)

会場/当館1階ホール
時間/10時~11時30分
定員/80名 参加費/無料
申込み/不要(当日先着順)

季節の催し お正月の会

新春を寿ぐ邦楽の演奏と
お料理、和菓子をお楽しみください。

開催日 令和7年 1月12日(日)
時間 11時~14時
演奏 松村紫乃氏&グループ琴のみなさん、
松村エリナ氏
料理 RKC調理師学校
和菓子 福留菊水堂
会場 当館
定員 30名
(要事前申込) 参加費 3,000円

●申し込み方法
電話(088-871-1600)・ハガキ・
FAX(088-871-1619)のいずれか
で、住所・氏名・電話番号を当館までお
知らせください。

●申込締切/12月24日(火)17時
申込多数の場合は、
抽選となります

年末の催し

ジョーハクの門松

門松の製作を見学いただけます。

開催日 12月22日(日)
時間 9時30分~10時
会場 当館北ステージ
協力 西本達弘氏

参加費
無料

季節の郷土料理教室

高知の年末年始の定番、
鯨肉入りの「暮れの煮物」と
土佐風の雑煮を作って試食します。

開催日 12月22日(日)
時間 10時~12時30分
講師 土佐伝統食研究会 彼末富貴氏
(高知県立大学 健康栄養学部健康栄養学科 助手)
会場 当館1階実習室
定員 16名(要事前申込/先着)
申込 電話(088-871-1600)
FAX(088-871-1619)
12月7日(土)受付開始

参加費
1,000円

移住者・転勤者のための 土佐文化講座 ~歴史・土佐弁・酒と料理~

開催日 12月22日(日)
時間 13時30分~15時
講師 当館職員
会場 当館1階ホール
対象 県外出身の方
(移住・転勤・進学などで高知在住の方)
定員 40名(要事前申込/先着)

参加費
無料

出張講座 「物部川流域 歴史と風景 ~一領具足・鎮守の杜・川と用水~」

開催日 令和7年 1月12日(日)
時間 13時30分~15時
講師 渡部淳(当館館長)
会場 香美市立中央公民館
共催 香美市教育委員会
定員 80名(要事前申込/先着)

参加費
無料

開館時間 9:00~18:00 (日曜日は8:00~18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末 (12月26日~31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金

◆企画展開催期間中...700円

◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円

◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。
高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)
はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立
高知城歴史博物館
(指定管理者: (公財)土佐山内記念財団)

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

高知城博 検索



発行日/令和6年(2024)11月27日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社

正月恒例 博物館に初もうで

新春を彩るおめでたい美術品や干支(巳)にちなんだもの、初出しとなる新収蔵資料の展示。
獅子舞をはじめとした新春ステージや土佐凧づくりに新春茶会も開催いたします。
お城のふもとの博物館で、土佐と日本の文化にふれ、心豊かな新年のスタートをお迎えください。

令和7年(2025)

1/1(水・祝) ▶ 1/3(金)

企画展 [3/9(日)まで]

みどころ満載! 城博コレクション

新年らしく縁起の良い資料や初出しの名品を大公開!

1/1(水・祝)~1/3(金)

お正月特別体験コーナー
オリジナル絵馬&やまびよんおみくじ

1/3(金)

土佐凧づくり
新春呈茶
新春ステージ
獅子舞の演舞、抜刀道の演武
書道パフォーマンス
キッチンカー

年末年始のお知らせ

年末休館
12月26日(木)~31日(火)

新年は1月1日(水・祝)より
開館いたします。

●イベントの詳細はホームページをご覧ください。当館までお問い合わせください。



ジョーハクLINE公式アカウント

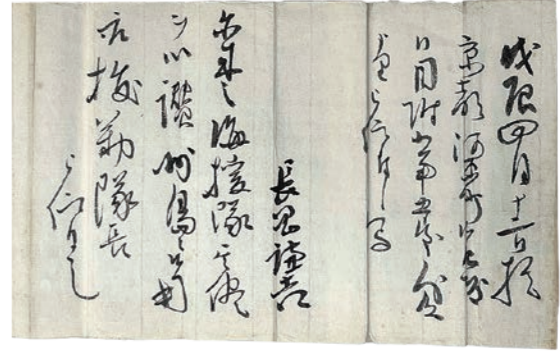


最新情報やオススメ情報などをお届け中!

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

長岡謙吉宛辞令書写

明治元年(1868) / 小島家資料



【翻刻】
戊辰四月十二日於
京都河原町御屋敷
御目附小南五郎右衛門殿
より被仰付候写

爾来之海援隊其後
ヲ以讃州島々御用
取抜勤隊長
被仰付之

令和五年、土佐藩士小島家に伝わった古文書が城博に寄贈されました。小島家は海援隊で坂本龍馬を文司(書記官)として支え、龍馬暗殺後に隊長を継いだ人物、長岡謙吉(本名今井純正)の母方の実家です。この家伝資料の中に、伯父や従兄弟に宛てて送った謙吉自筆の書状が二十通余りありました。

後の海援隊を率いる長岡謙吉が、京都土佐藩邸で讃岐塩飽諸島鎮撫の特命任務を命じられた辞令の写しです。これに添えた伯父宛の手紙で謙吉は、正月の戊辰戦争開戦以来、海援隊は塩飽で任務にあたっていましたが、これに疑義を挟む者がいたため、公的な活動であることを分明にすべく上京したのだと説明しています。

晴れて目的を遂げた謙吉は、近日蒸気船で徳島へ向かいます。城博コレクションの充実、そのまま高知の歴史像がより色鮮やかに、豊かになることを意味します。皆様のご支援を追い風に、今後も前進を続けられるよう、新しく迎える年も学芸員一同務めてまいります。

長岡謙吉は大政奉還建白書の起草にも関わったという幕末史上の重要人物ですが、残念ながら、小島家資料には龍馬を支えた時代の手紙はありません。しかし私的な内容を多く含む手紙の数々は私用の手紙にも朱墨で注記・推敲するような知的な印象とほうらはらに、晩年大量吐血して禁酒するまで呑まない日はなかったほどの酒豪で、故郷と家族、小島家家伝の「御コウ」(漬物)を愛する一人の魅力的な人間だったことを教えてください。

高知城天安守永修築棟札
国指定重要文化財(天守附)



【寄託後初公開】
蘭和辞典「ドゥーフ・ハルマ」
(高知県立高知道手前高等学校蔵)

高知城天安守永修築棟札
国指定重要文化財(天守附)

【初公開】豊臣秀吉朱印状 毛利勝信宛(乾家資料/個人蔵)

【初公開】竹内綱筆「工業富国基」(高知県立高知工業高等学校蔵)

見物・初物・干支の物。
令和七乙巳(きのとみ)の年最初の企画展は、「み」ごたえある初公開資料や、新年にふさわしい縁起の良い資料をそろえた館蔵品展です。普段なかなか展示する機会のない資料や、ここ数年で城博の収蔵資料に仲間入りした新収蔵品を一挙公開。館蔵品展だからと、あなどることなかれ。「み」どころ満載の企画展を、みなさん、どうぞお「み」のがしなく!

み どころ その1 新しき年の初めに福をよぶ

新年にふさわしい、おめでたい資料を集めました。



布袋福祿寿人
河田小龍
(部分)



紙衣陣羽織
山内一豊所用

寿字杯

み どころ その2 見れば身になる?巳年豆知識

へびにゆかりの説話やデザインをご紹介します。



蛇/目傘を持つ役者絵(忠臣蔵) 豊原国周



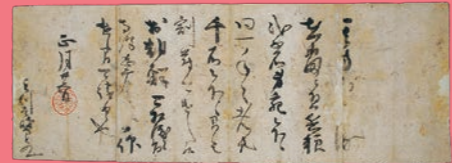
松竹梅鶴亀蒔絵香炉



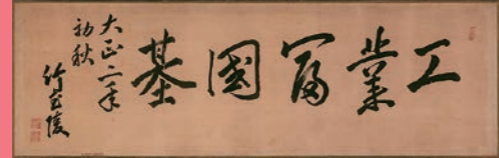
能面 般若

み どころ その3 初出しの名品、大放し!

ますます進化する城博コレクションをお楽しみください。



【初公開】豊臣秀吉朱印状 毛利勝信宛(乾家資料/個人蔵)



【初公開】竹内綱筆「工業富国基」(高知県立高知工業高等学校蔵)

み

城博コレクション

会期 令和7(2025)年

1月1日(水・祝)

→ 3月9日(日)

[会期中無休]

◆関連行事◆

スライドレクチャー

《日時》1/3(金)、2/2(日)、3/1(土)

各回10時~(約30分)

会場: 当館3階土佐探索室

要観覧料・申込不要

お知らせ

古今和歌集巻第二十(高野切本)の展示について
令和7(2025)年は大阪市立美術館で4/26-6/15に開催の「日本国宝展」に貸出予定のため、当館ではレプリカ展示のみとなります。原本展示期間等の詳細は国宝展特設サイトにてご確認ください。

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室 第4期 1月17日(金)~2月17日(月)

ピックアップ

1 15代藩主山内豊信書状

幕末維新のコーナーでは、15代藩主山内豊信(容堂)の書状を展示します。日米修好通商条約調印後の江戸の情勢とともに、安政の大獄による自身の状況を伝えています。この他、幕末土佐藩の立場や方針を示す資料をご紹介します。



総合展示室 第4期 12月6日(金)~2月3日(月)

ピックアップ

2 絵の中に入りましょう

どこからどう見たらいいかわからない古い絵。絵の中の人になって奥行きや時間の流れを感じる方法を提案します!



活動レポート

企画展「土佐和紙のちから~文化財補修用紙の今~」 関連行事の開催

講演会 講座

現在開催中の企画展では、展示を深く理解していただくための様々な講座を企画しています。今回はそのうちの2つを報告します。

まず1つ目が9月29日、文化庁文化財第一課主任文化財調査官の地主智彦氏を講師にお招きした記念講演会「文化財保存技術の保護と継承ー補修用紙としての土佐和紙を中心にー」。講演では、伝統的な技術と材料で成り立つ文化財修理の歴史を振り返り、土佐和紙を含む手漉き和紙を取り巻く現状をお話いただきました。とりわけ後継者不足などから存続の危機にある簀桁製作や原材料の生産。これらの安定的な確保と技術の保護・継承がいかに重要か、最新の取り組みとあわせてお話いただきました。

2つ目が、10月27日に開催した実演講座「土佐和紙の伝統と技ー文化財の補修用紙ー」。前半は高知県立紙産業技術センター主任研究員の有吉正明氏をお招きし、土佐和紙の歴史と伝統的な土佐和紙づくりの工程を解説いただきました。その後、表具用手漉和紙(補修紙)製作で国の選定保存技術保持者の江洲榮貴氏にお願いし、紙漉きの実演を見学しました。江洲氏は土佐和紙の伝統を土台に、現在展示中の国指定文化財を含め、数えきれないほどの補修紙を作ってきた方です。参加者の皆さんは、簀桁をリズム良く操る江洲氏の一連の動作に興味津々。また補修紙を作る上での心構えや難しさをお話いただくなど、大変有意義な会になりました。

資料学芸課 資料保存修理室長 田井東浩平

秋の連休イベント 「土佐和紙ワークショップ」

イベント

11月3日(日)文化の日、開催中の企画展にあわせ「土佐和紙ワークショップ」と題した映画の上映会と体験イベントを行いました。

上映作品「明日をへぐる」(2021)は、土佐和紙の原料・楮をめぐり高知の山里の暮らしや、和紙づくりに関わる人々の姿を記録したドキュメンタリーです。※「へぐる」とは楮の皮を削ぎ取る加工作業を指す「土佐弁」。

作中、後継者不足による和紙文化の存続危機と将来への展望について語られたシーンは、文化財補修用紙に使われる土佐和紙の過去・現在、そして未来を考えた今回の企画展との関連性を強く感じ、大変印象に残りました。来場者からは、「映画を通して和紙文化が受け継がれることに期待したい」などの感想をいただきました。

また屋外の北ステージでは、実際に楮をへぐる体験も行いました。講師は、地域文化の継承活動に取り組まれている「上東を愛する会」の皆さん。参加者は、特殊な「へぐり包丁」の扱いに初めは苦労されている様子でしたが、講師に教えてもらいながら上手に仕上がっていました。

他にも子ども向け企画として、漉き込んだ和紙に色を付けフレームに飾る工作体験を行いました。講師は、井上みどり氏(井上手漉き工房)と笑描きつる子氏(イラストレーター)のお二人。参加された親子は、思い思いに和紙を彩りながら作品づくりを楽しまれました。

イベントをきっかけに、多くの方にご来館いただき、土佐和紙の伝統や魅力、可能性について知っていただけたと思います。

広報・地域連携担当 企画員 筒井聡史

